

報道機関 各位

資料提供 平成29年1月30日  
秋田空港管理事務所 総務班  
担当者 副主幹 柴田久幸  
副主幹 竹内正浩  
TEL 018-886-3362  
美の国あきたネット掲載 (有)・無

## 平成28年（暦年）の秋田空港利用状況について

平成28年（暦年）の秋田空港の利用者数は、1,205,868人（搭乗率は67.6%）で前年より3,609人減少し、前年比99.7%であった。利用者数が120万人を上回ったのは、平成27年から2年連続である。

国内線の利用者数は、1,205,868人（搭乗率は67.6%）で前年より19,689人増加し、前年比101.7%であった。

また、国際線のソウル仁川便は、昨年1年間運休していたため、利用者数は前年より23,298人減少した。

なお、チャーター便は、国内外合わせて58便、利用者数8,175人（搭乗率は87.8%）であった。

### 1 路線別の動向

#### ①東京羽田線

利用者数は、846,133人（搭乗率70.5%）で前年より8,630人増加し、前年比101.0%であった。機材の小型化による影響があったものの、個人や団体旅行が年間を通して比較的堅調に推移したことなどにより、前年を上回った。

#### ②名古屋中部線

利用者数は、66,659人（搭乗率60.8%）で前年より2,531人増加し、前年比103.9%であった。5月の伊勢志摩サミットの効果や9月に開催された日本スポーツマスターズ2016秋田大会の影響により、前年を上回った。

#### ③札幌千歳線

利用者数は、104,173人（搭乗率52.8%）で前年より691人増加し、前年比100.7%であった。1日1往復の減便による影響があったものの、個人や団体の旅行利用が年間を通して動きが良かったことや、天候不良による欠航が減ったことなどにより、前年を上回った。

#### ④大阪伊丹線

利用者数は、188,903人（搭乗率68.3%）で前年より7,837人増加し、前年比104.3%であった。9月に開催された日本スポーツマスターズ2016秋田大会の影響や、夜間駐機などによるダイヤの利便性の良さが利用者に受け入れられていること、また個人や団体の旅行利用が順調に推移したことにより、前年を上回った。

## 2 貨物の動向

貨物の取扱数量は、入荷数量が777.9t、出荷数量が604.0t、合計で1,381.9tであった。入荷数量が84.1t、出荷数量が259.6t、合計で343.7tそれぞれ減少した。入荷の主な品目は、精密機器や工業部品等で、出荷の主な品目は山菜や弁当等の食品類及び工業用部品ほかであった。

## 3 チャーター便の動向

チャーター便は、秋田－稚内間ほかの国内便が6便、秋田－台北間ほかの国際便が52便、合わせて58便であった。

利用者数は、国内便が298人（搭乗率62.1%）、国際便が7,877人（搭乗率89.1%）、合わせて8,175人（搭乗率87.8%）であった。

平成28年（暦年）の秋田空港利用状況

1 定期便利用状況

(単位：便、人)

路線名	平成28年						平成27年						利用者数 増減	利用者数 対前年 比
	運航回数				利用者数	搭乗率	運航回数				利用者数	搭乗率		
	予定	実績	欠航数	欠航率			予定	実績	欠航数	欠航率				
東京羽田線(ANA)	3,660	3,627	33	0.9%	522,081	72.2%	3,650	3,637	13	0.4%	541,694	65.1%	△ 19,613	96.4%
東京羽田線(JAL)	2,928	2,891	37	1.3%	324,052	68.0%	2,920	2,902	18	0.6%	295,809	61.8%	28,243	109.5%
東京羽田線(計)	6,588	6,518	70	1.1%	846,133	70.5%	6,570	6,539	31	0.5%	837,503	63.9%	8,630	101.0%
名古屋中部線(ANA)	1,496	1,479	17	1.1%	66,659	60.8%	1,482	1,471	11	0.7%	64,128	58.9%	2,531	103.9%
札幌千歳線(ANA)	1,464	1,422	42	2.9%	54,240	51.5%	1,460	1,409	51	3.5%	50,308	48.2%	3,932	107.8%
札幌千歳線(JAL)	1,464	1,392	72	4.9%	49,933	54.2%	1,946	1,845	101	5.2%	53,174	57.4%	△ 3,241	93.9%
札幌千歳線(計)	2,928	2,814	114	3.9%	104,173	52.8%	3,406	3,254	152	4.5%	103,482	52.6%	691	100.7%
大阪伊丹線(ANA)	2,196	2,174	22	1.0%	106,336	65.9%	2,190	2,158	32	1.5%	102,695	64.3%	3,641	103.5%
大阪伊丹線(JAL)	2,196	2,159	37	1.7%	82,567	71.7%	2,190	2,134	56	2.6%	78,371	68.2%	4,196	105.4%
大阪伊丹線(計)	4,392	4,333	59	1.3%	188,903	68.3%	4,380	4,292	88	2.0%	181,066	65.9%	7,837	104.3%
国内線計	15,404	15,144	260	1.7%	1,205,868	67.6%	15,838	15,556	282	1.8%	1,186,179	62.7%	19,689	101.7%
ソウル仁川線(KAL)	運 休						236	236	0	0.0%	23,298	61.4%	△ 23,298	—
全線合計	15,404	15,144	260	1.7%	1,205,868	67.6%	16,074	15,792	282	1.8%	1,209,477	62.7%	△ 3,609	99.7%

2 貨物取扱量

(※小数点以下第二位を四捨五入しているため、計算が一致しない場合があります。)

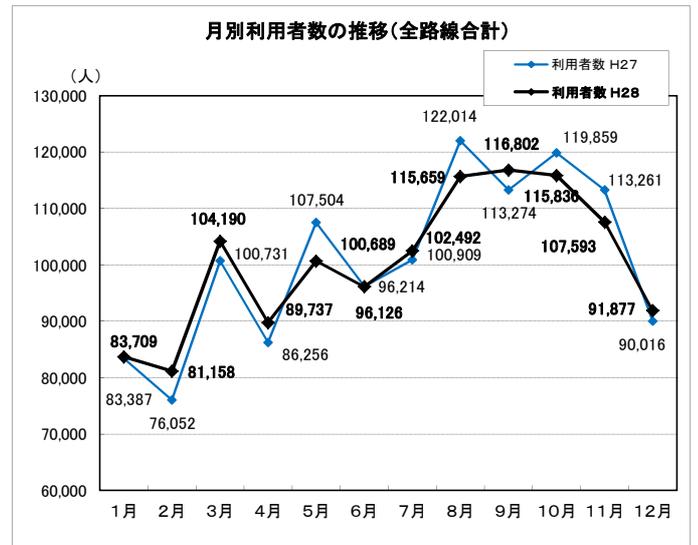
全線	平成28年	平成27年	増減
貨物入荷(t)	777.9	862.0	△ 84.1
貨物出荷(t)	604.0	863.7	△ 259.6
計(t)	1,381.9	1,725.7	△ 343.7

うち国際線(仁川)分	平成28年	平成27年	増減
貨物入荷(t)	0.0	3.4	△ 3.4
貨物出荷(t)	0.0	0.5	△ 0.5
計(t)	0.0	3.9	△ 3.9

3 郵便取扱量

(※小数点以下第二位を四捨五入しているため、計算が一致しない場合があります。)

郵便取扱量	平成28年	平成27年	増減
郵便(t)	427.4	455.6	△ 28.2



4 チャーター便利用状況

(単位：便、人)

国内・国際別	平成28年	平成27年	便数 増減	平成28年		平成27年		利用者数 増減
	便数	便数		利用者数	搭乗率	利用者数	搭乗率	
国内便	6	0	6	298	62.1%	0	—	298
国際便	52	39	13	7,877	89.1%	6,127	93.4%	1,750
合計	58	39	19	8,175	87.8%	6,127	93.4%	2,048